

経営比較分析表（令和4年度決算）

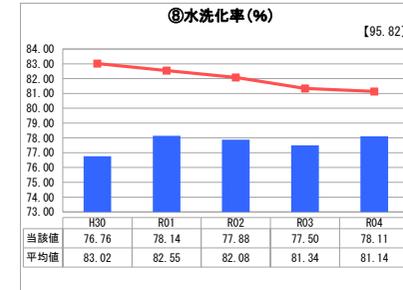
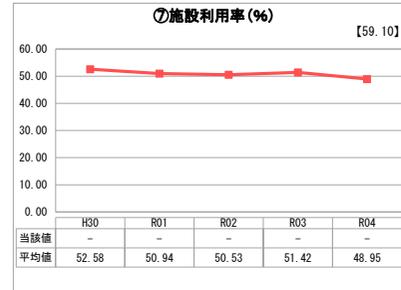
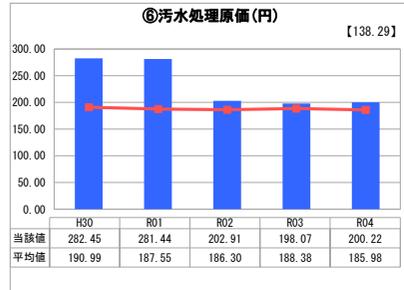
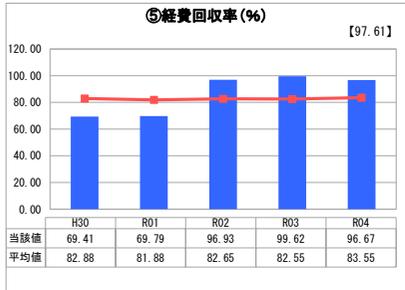
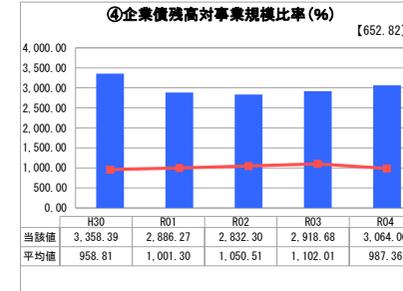
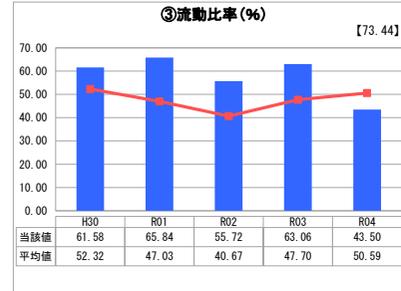
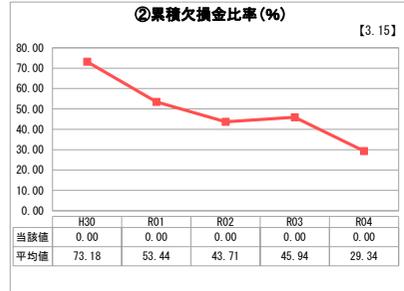
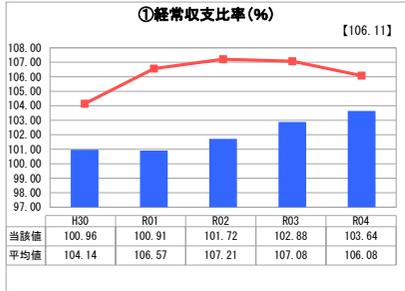
宮城県 美里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	46.95	47.19	95.99	3,740

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
23,483	74.99	313.15
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
11,037	3.89	2,837.28

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

③流動比率について
令和4年度は、年度内に借入できなかった企業債があったため、類似団体平均値を下回っている。また、100%を下回っている。令和4年度から一般会計繰入金の見直しを行ったほか、令和5年度に使用料の改定を行い、令和6年度から改定後の使用料となることから、今後改善する見込みである。

④企業債残高対事業規模比率について
整備途中であるため、比率が増加傾向である。企業債残高は令和10年度がピークで、以後減少する見込みである。

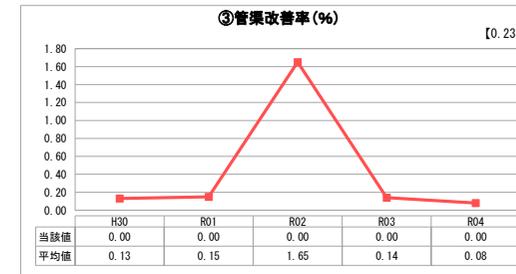
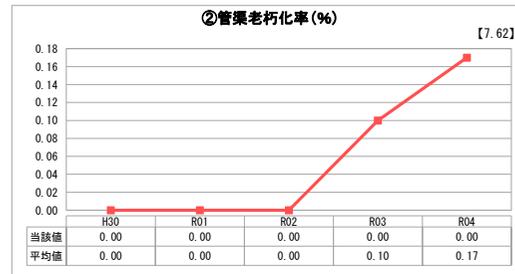
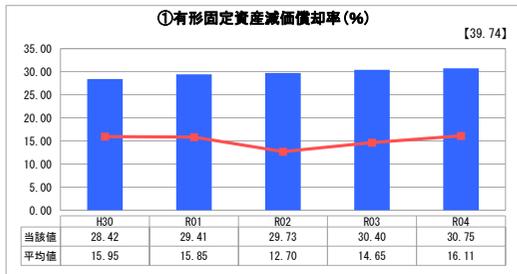
⑥汚水処理原価について
類似団体平均値及び全国平均を上回っている。令和6年度から流域下水道維持管理負担金の見直しがあり、今後増加する見込みである。

⑧水洗化率について
整備途中であるため、水洗化率が伸びにくい状況である。整備率の向上に併せ、新規供用開始区域及び既供与開始区域の未接続者に対し、さらなる普及活動に努める。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率について
マンホールポンプ等の機器が耐用年数を迎えつつあるため、計画的に順次更新を行わなければならない。

2. 老朽化の状況



全体総括

短期的な課題としては、流動比率の改善及び水洗化率の向上が挙げられる。
令和4年度から一般会計繰入金の見直しを行ったほか、令和5年度に使用料の改定を行い、令和6年度から改定後の使用料となることから、今後、流動比率が改善する見込みである。
中長期的な課題としては、汚水管きよめ整備の早期完了が挙げられる。
整備区域の見直しを行いつつ、整備工事を早期に完成させ、住民に利用してもらえる環境づくりに努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。